図書館・美術館基本設計市民懇談会　議案

日　時　　平成２３年3月２８日(月)午後２時～

場　所　　米子市役所第２庁舎２階会議室２

日　程

1　開　　会

2　あいさつ

3　自己紹介

4　座長・職務代理選出

5　議　　題

図書館・美術館整備方針について

質疑

6　その他

7　閉　　会

図書館・美術館基本設計市民懇談会委員名簿

氏　　名	所　　属　　等	備　　考
中川　容子	米子市ボランティア協議会	高齢者関係団体
黒田　正勝	米子市身体障害者福祉協議会	障がい者関係団体
渡邉　眞子	図書館友の会・米子	図書館関係団体
長田　昭夫	米子市美術館協議会	美術館関係団体
細田　智久	米子工業高等専門学校	建築専門家
田中　国彦	NPO 法人　夢蔵プロジェクト	まちづくり関係団体

平成 23 年 3 月 28 日

図書館・美術館基本設計市民懇談会

（説明資料）

米子市教育委員会事務局

目　　次

図書館・美術館整備方針について---------- 1
1　目的 ---------- 1
2　整備方針 ---------- 1
3　施設整備の概要 ---------- 2
（1）　米子市立図書館---------- 2
①　施設 ---------- 2
②　利用状況 ---------- 2
③　課題 ---------- 3
④　市民意見 ---------- 3
⑤　整備の概要---------- 4
※　参考（前記の整備が実施された場合の増床予定面積）---------- 5
（2）　米子市美術館---------- 6
①　施設 ---------- 6
②　利用状況 ---------- 6
③　課題 ---------- 6
④　市民意見 ---------- 7
⑤　整備の概要---------- 7
※　参考（前記の整備が実施された場合の増床予定面積）---------- 8
4　基本設計策定スケジュール---------- 8
5　概算事業費 ---------- 8
6　図書館・美術館基本設計市民懇談会設置要綱---------- 9

資　　料

1　図書館１階平面図---------- 1
2　図書館２階平面図---------- 2
3　図書館の施設 ---------- 3
4　美術館１階平面図---------- 4
5　美術館２階平面図---------- 5
6　既設配置図 ---------- 6

【図書館・美術館整備方針について】

１　目　的

この整備方針は、「伯耆の国よなご文化創造計画」に掲げる図書館・美術館整備事業について、その概要を定めるとともに当該事業の推進を図ることを目的に策定します。

２　整備方針

（１）市民合意の形成

図書館・美術館整備事業については、市民、利用者及び関係団体の意見、要望を聞きながら基本設計市民懇談会の実施により基本設計（案）を定め、さらに、パブリックコメント、タウンミーティングを通して広く市民意見を聴き説明に努めるとともに、公共事業評価による検証を行います。

（２）整備の位置

図書館・美術館は、本市の中心地に立地しており、公共交通の利便性もよく、山陰歴史館とともに米子市の文化ゾーンを形成しています。中心市街地活性化基本計画では、このエリア内各施設の相乗効果による集客を図ろうとしていることもあり、現在地における現有施設を活用した整備を実施します。

（３）効率的な施設運営等

施設整備に当たっては、隣接する図書館・美術館の地理的条件を活かし、展示室、多目的研修室、会議室等の両施設で共用できる設備については、共用化に努め、効率的な施設の利活用と適切な管理運営に努めます。

また、環境問題に配慮し、太陽光発電の導入について積極的に検討します。

（４）安全性と快適性の向上

憩いの道を活用し、市役所駐車場から図書館・美術館への導線を整備することにより、安全性と快適性の向上を図ります。

（５）周辺環境の整備

旧２中校舎は、建築後５０年以上が経過しており、老朽化が著しく、耐震性や景観上の問題があることから解体撤去します。解体撤去後の跡地については、憩いの道の持つ「癒し」や「ゆとり」の機能を充実するため、環境整備を実施します。

（６）他の機関との連携

インターンシップ等の活用により、市内にある建築関係の専門的教育機関との連携を図り、意見や提案等を整備に活かします。

３　施設整備の概要

（１）米子市立図書館

①　施　設

米子市立図書館は、昭和５３年に県立米子図書館として建築、平成２年に米子市に移管され現在に至る。（開館後３２年が経過）

・　鉄筋コンクリート２階建　　・敷地面積　3628.34㎡
・　建築面積　1098.08㎡　　・延床面積　1969.26㎡
・　開架書架・親子読書コーナー・学校支援移動図書館車用スペース・書庫・新聞庫・特設文庫室・郷土資料室・大会議室・事務室など

②　利用状況

（平成２１年度）

蔵書数	年間受け入れ冊数	職員数	登録者数	利用者数	個人貸し出し	団体貸し出し
246,274 冊	13,192 冊	14 人	54,507 人	95,196 人	373,004 冊	38,076 冊

※学校図書館への貸し出し冊数　26,819 冊
※学校図書館からのレファレンス件数　1,576 件

蔵書数の推移

年度	平成 2 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
冊数	123,982	247,730	253,270	241,140	238,719	246,274

個人貸出冊数の推移

年度	平成 2 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
冊数	45,871	302,486	302,235	304,763	336,201	373,004

利用者数（個人貸出利用者数）の推移

年度	平成 2 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
人数	21,284	86,212	85,636	89,081	92,707	95,196

③　課　題

米子市立図書館は、昭和５３年に県立米子図書館として建築された後、平成２年に米子市立図書館として移管されました。その後、市民の皆さんの利用も年々増加し、市民の図書館として成長してきました。

建築後約３２年が経過し、当初、蔵書数１５万冊として設計されていましたが、現在の蔵書数は約２５万冊となり、保管庫・開架スペースとも狭く、今後の資料収集と保管は困難な状態となっています。また、開架スペースでの車椅子使用者等の通路確保が不十分なほか、親子での読書や読み聞かせ等も円滑に行えない状態です。

米子市立図書館の事業として、全国から注目されている学校支援事業ですが、そのための作業スペースも不十分で、全体スペースの確保とバリアフリー化の推進が必要となっています。

また、施設の経年劣化への対応や大会議室の効率的な活用、駐車場からの安全な導線の確保なども課題となっています。このように、米子市立図書館が抱える多くの課題を解消し、生涯学習や情報提供、さらに、子どもの読書を支える拠点として、市民のための快適で利用しやすい開かれた図書館を目指した整備を行う必要があります。

なお、建築関係法令により既存建物面積の５割以上の増築には現在の基準に基づく大幅な改修が必要となることから、増築面積は既存の床面積の二分の一未満（約９８４㎡）とします。

④　市民意見

※各団体等からの要望書、図書館協議会等で出た意見、市政提案等の中から施設整備に係るものを抜粋して要約したものです。

・手狭でバリアフリーにも対応していない親子読書コーナーを含む一般開架部分の充実快適化、一般用図書及び閲覧席の増加
・授乳室、子ども用トイレ、手洗い場の設置
・児童コーナーが一般開架と分離されておらず、ゆっくりと読み聞かせができない
・視聴覚コーナーの充実
・コピー機、インターネット端末の増設とインターネットを利用した有料ジャーナルの提供
・入口に防犯ゲートの設置
・障がいがある方等への対応（対面朗読室・来館者用エレベーターの設置）
・車椅子やベビーカーに対応可能なつくりにする
・トイレや会議室が古くて快適ではない
・規模が大きく、一つしかないため利用しにくい大会議室の改善
・大会議室が勉強のための学生でいっぱいになってしまう、会議室がふさがっていると学習に利用できない

・手狭になってきている書庫等の改善
・特設文庫室・参考郷土資料室の資料が利用しにくい、郷土資料の有効活用
・情報発信及びボランティア活動の拠点としてのスペースの確保、ボランティアグループが共有して利用できる部屋の設置
・軽食のとれる場所・喫茶コーナー等くつろげる場所の設置
・専用の駐車場の設置、それが出来なければ市役所駐車場内に専用スペースを設けて欲しい
・図書館前の噴水が汚れている、騒音状態である、環境整備も含め検討して欲しい

⑤　整備の概要

○　空調、トイレ、電気設備等の改善を含む既存建物部分のリニューアル
経年劣化による不具合に対応するため、内装、床、壁面、電気設備、空調設備等を含んだ全面的なリニューアルを実施します。

○　バリアフリー化の推進
来館者用エレベーターを新設します。
バリアフリーに対応した書架等の改善、車椅子で通行可能な通路部分の確保を行います。

○　一般開架スペース及び親子読書コーナーの拡充
開架部分の蔵書数を増やし、閲覧スペースや情報提供スペースを拡充します。
親子読書コーナーは、一般開架利用者との分離を図り、利用しやすくするとともに、授乳コーナー、子ども用の多目的トイレの設置を検討します。

○　学校支援事業充実のためのスペースの拡充
米子市内の小・中学校への配本支援を円滑に行うため、作業スペースを拡張します。

○　特設文庫室・参考郷土資料室を機能的に拡充
特設文庫室・参考郷土資料室を拡充し、資料を効率よく機能的に配置することにより、閲覧スペースを確保し郷土学習への利用を図ります。

○　美術館との共用にも配慮した大会議室の利便性を高める改善
会議室の効率的な利用を図るためパーテーション等の導入と照明その他の改善を行い、会議・講座・展示・研修等に有効に活用できる多目的研修室として美術館との相互の活用を考えた整備を行います。

○　図書資料の収容能力を高めるための書庫の拡張
図書資料等を適切に収集・保管するため書庫を拡張します。

○　その他
対面朗読室・ボランティア活動用のミーティングルームの設置などを検討します。
耐震診断結果、施設の利用状況等を考慮し、適切な耐震補強を実施します。

※参考（前記の整備が実施された場合の増床予定面積）

※【注意】既存建物面積の 50%を超えない増築として想定される増築後の面積の目安です。

区 分 等		現状面積（㎡）	整備後の面積の目安（㎡）	整備内容等
1階	一般開架スペース（展示閲覧スペースを含む）	550	約 1,100	既存の一般開架部分も全面的にリニューアルし、増築部分と一体化して効率的に書架を配置。児童書を含め、10 万冊程度の図書資料を配架し、快適な読書空間へ
	親子読書コーナー（うち読み聞かせコーナー）	120（44）		一般開架部分との分離を図り、トイレ・授乳室の整備も検討
	学校支援スペース等	60	約 200	現在の 2 倍程度の作業スペース 車への積み下ろしなどの際に雨等による資料の汚損防止
	図書館車車庫	42		
	その他（事務室部分、玄関スペース、通路部分等） 来館者用エレベータの新設（現在は事務用1基）	233	約 400	通路・共有スペースの増加 障がいがある方等も利用しやすい来館者用エレベーターの増設
2階	参考・郷土資料等閲覧室	140	約 200	閲覧スペースの拡充も含め約 1.5 倍の面積
	大会議室（150人程度対応）	260	約 260	美術館との共用にも配慮した多目的な利用が可能となるよう整備
	書庫・倉庫（新聞庫含む）	247	約 370	現在の 1.5 倍程度の収容能力
	その他（機械室、高電圧室、踊り場、ボランティア等休憩室、通路部分等） 対面朗読室、ミーティングルームの新設	317	約 420	通路・共有スペースの増加 対面朗読室、ミーティングルームの新設の検討
計		1,969	約 2，950	

（2）米子市美術館

① 施　設

米子市美術館は、昭和５８年６月に山陰地方ではじめての公立美術館として開館しました。収蔵品は郷土作家を中心に、版画・絵画・写真など約１７００点を所有し、県展、市展、特別展等の展覧会や米子市の秋の文化祭開催等にも利用され、誰もが気軽に利用できる市民ギャラリーとしてのコンセプトを持つ市民に親しまれる美術館となっています。

・鉄筋コンクリート２階建　　・敷地面積　1713.95㎡
・建築面積　1050.74㎡　　・延床面積　2062.15㎡
・展示室５室・収蔵庫・事務室・荷解室・倉庫など

② 利用状況等

来館者数の推移

年　度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
人　数	55,570人	80,515人	68,212人	77,838人	54,947人

常設展の開催日数

年　度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
日　数	131日（3回）	68日（2回）	95日（3回）	90日（3回）	95日（3回）

美術館収蔵品内訳

区　分	洋　画	日本画	版　画	素　描	彫　刻	写　真	書	合　　計
点　数	192点	88点	313点	294点	22点	785点	9点	1,703点

その他　資料　５７点

③ 課　題

美術館には、展示、収蔵、研究などの様々な役割がありますが、米子市美術館は市民ギャラリーとして開館された経緯があり開館当初より市民と一体となり文化と芸術の振興に努めてきました。

現在、開館後、２７年を経過し施設内部の老朽化も進み、また、収蔵品も増えると同時に、利用者のニーズも変化してきたことから、今後も美術館を市民に親しまれる文化・芸術の情報発信と活動の拠点として整備する必要があります。

美術館は、高齢者から子供まで利用しやすい市民ギャラリーとしての効率化と利便性の向上を図るとともに、訪れる人の美的欲求を満たし、日常の生活に「うるおい」や「やすらぎ」をもたらす文化的空間を提供する事が大切であり、旧２中校舎跡を含めた文化ゾーンとしての景観整備と駐車場からのゆとりのある導線の確保が必要となっています。

④　市民意見

※関係団体の要望やワークショップで出された意見等を要約したものです。

・文化空間として、図書館、美術館、歴史館の連携
・展示室の拡張と改修
・ナイヤガラ（噴水）を撤去して、美術作品の設置
・収蔵庫の拡張
・資料研究室の設置
・専用駐車場の確保
・利用団体等の控室の設置
・会議室･研修室の設置
・美術館、図書館にしてもゆったりくつろげるスペースの確保
・受付カウンターの新設と事務室の拡張
・美術館後援会等の事務局の設置
・喫茶室及びミュージアムショップの設置
・2階トイレの設置
・旧明道公民館（旧２中）の跡地利用

⑤　整備の概要

○　バリアフリー化の推進

正面玄関ドアの自動化及び来館者等専用のエレベーターを設置します。

○　ロビー・事務室・応接室の拡張

ロビー・事務室・応接室に接する部分を建物の外側にある柱部分（２m）まで拡張し、正面玄関の右側に休憩スペースを設けます。

○　展示用パーテーションの改善

展示室利用者の利便性の向上と展示室としての機能を高めるため、現在の展示用パーテーションをレールによる天井から吊り下げ式のパーテーションに改善します。

○　空調設備等のリニューアル

築後２７年を経過し、空調設備・照明設備の老朽化が進む中で、長期的な観点から、空調設備、照明設備などをリニューアルするとともに、展示面及び床面の全面張替えを行います。

○　収蔵庫の拡張

収蔵庫に隣接し、美術館２階にある倉庫を第２収蔵庫に改造するとともに、既存の収蔵庫の内部を改修し、収蔵機能を高めます。

○　新たな収納スペースの確保

２階の倉庫を収蔵庫に改造する代替措置として、１階の荷解室の上部を改修し、倉庫スペースとしての空間（約50㎡）を確保します。

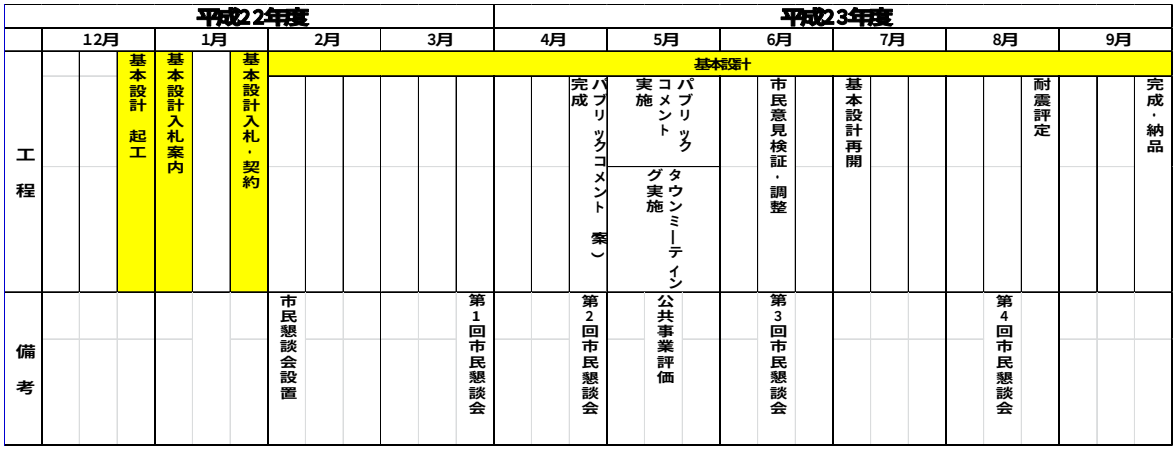
○　図書館との共用化

展示室、多目的研修室、会議室等については、図書館・美術館の共用施設として、増築する図書館にこれらの機能を有する施設を設けることを検討します。

※参考（上記の整備が実施された場合の増床予定面積）

区　　分	現有面積	拡張面積	合計面積	摘　　要
事務室	３０㎡	約１５㎡	４５㎡	
応接室	３０㎡	約１０㎡	４０㎡	
収蔵庫	１００㎡	約３０㎡	１３０㎡	２階倉庫を収蔵庫に用途変更
休憩スペース	０㎡	約２０㎡	２０㎡	
合　計	１６０㎡	約７５㎡	２３５㎡	

４　基本設計策定スケジュール



５　概算事業費

現時点における総事業費の概算額は、本市の厳しい財政状況を踏まえつつ、約１０億円（旧２中の解体撤去費及び周辺環境整備を含む。）程度とします。

図書館・美術館基本設計市民懇談会設置要綱

（設置）

第１条　図書館･美術館基本設計を策定するに当たり､広く市民の意見を反映させるため、図書館・美術館基本設計市民懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

（意見の聴取）

第２条　教育委員会は、図書館・美術館基本設計に関する意見を、懇談会の委員から聴くものとする。

（組織）

第３条　懇談会は、次に掲げる者をもって組織する。

(1) 学識経験のある者

(2) 各種関係団体を代表する者

(3) 前２号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

（座長）

第４条　懇談会に、座長を置く。

２　座長は、懇談会の会議を主宰する。

３　座長に事故があるとき､又は座長が欠けたときは､あらかじめ座長が指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

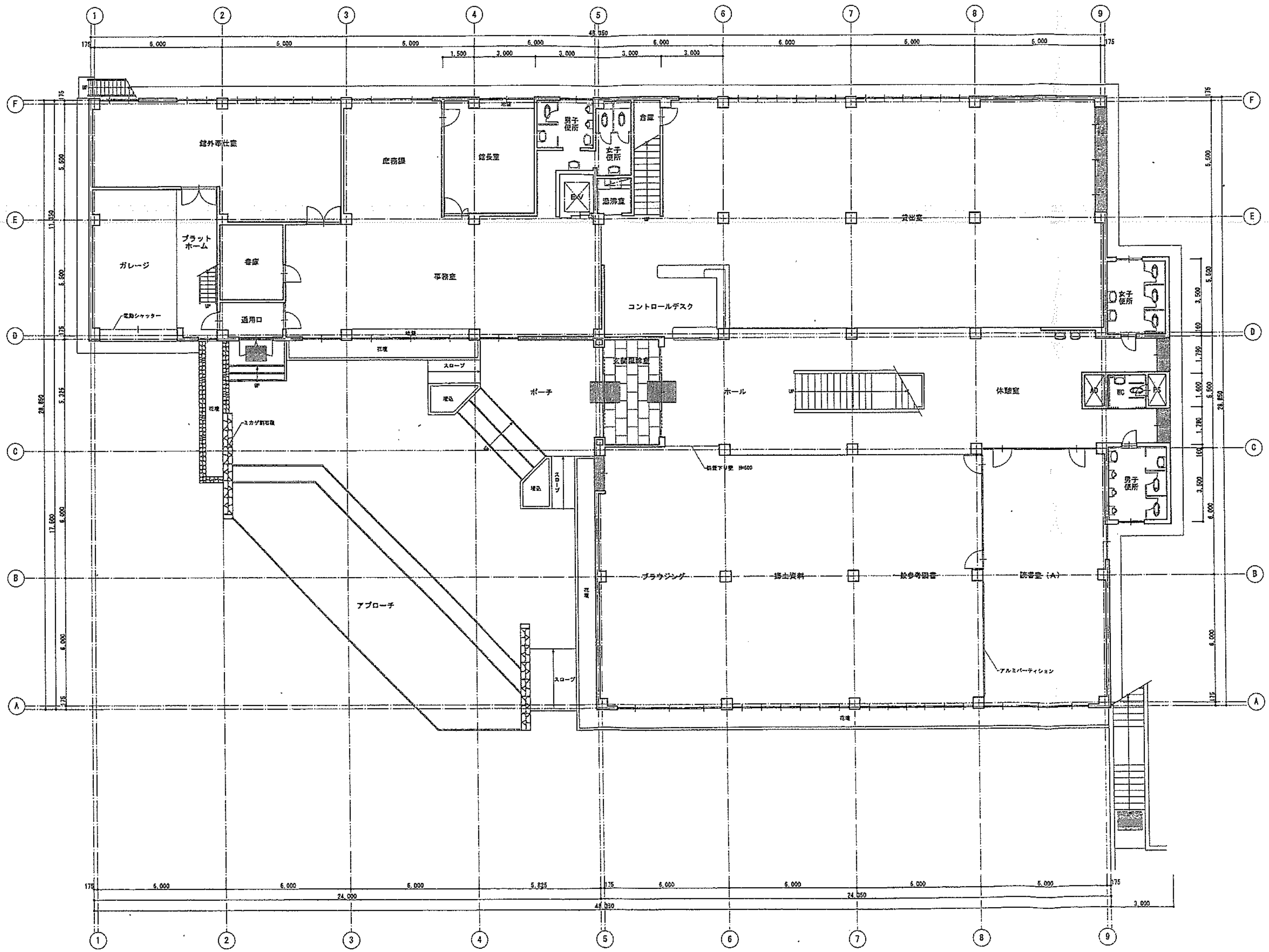
第５条　懇談会の会議は、教育委員会が招集する。

（庶務）

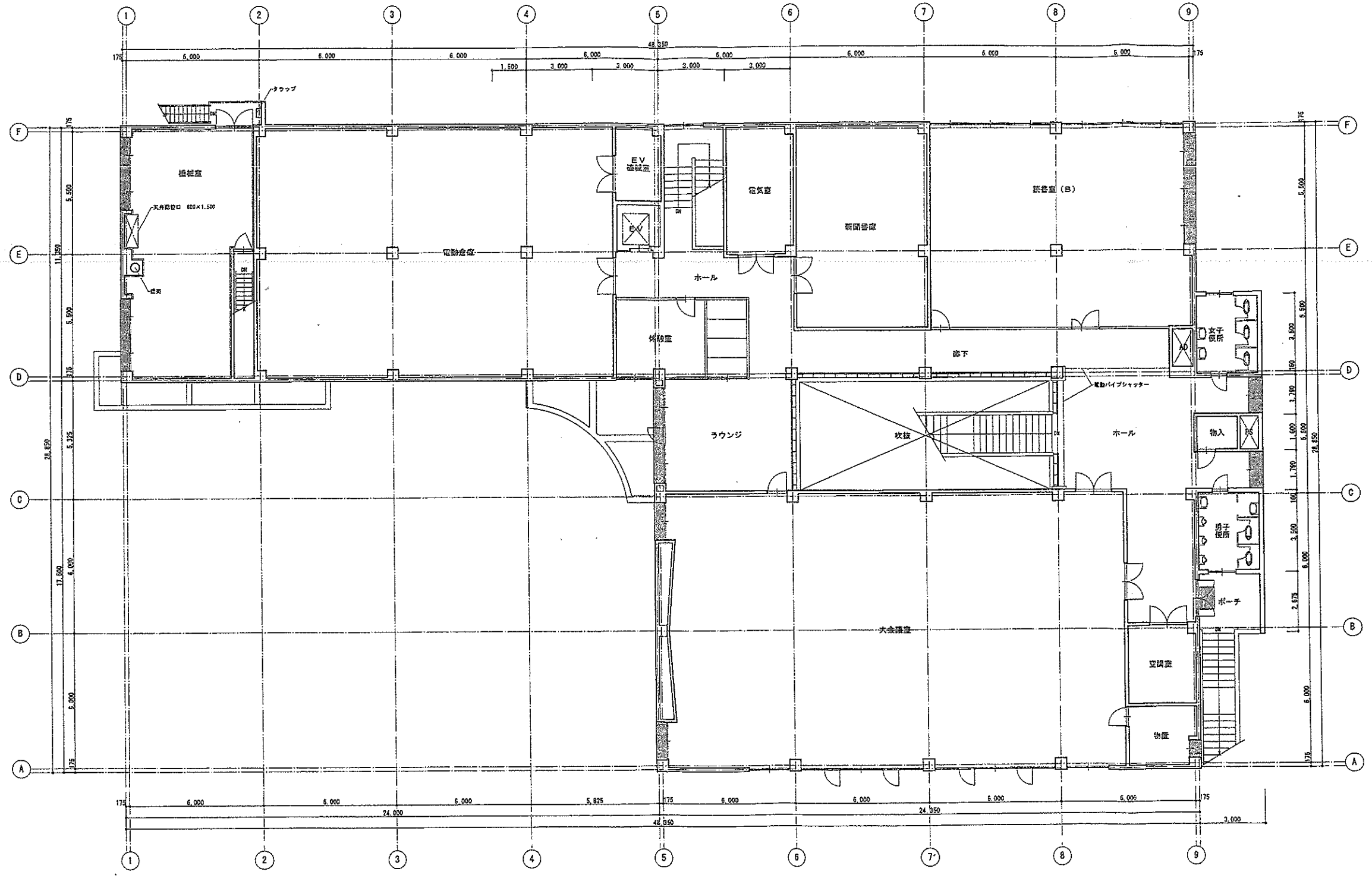
第６条　懇談会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

附　則

この要綱は、平成２３年２月１日から施行する。


館外奉仕室
庶務課
館長室
男子便所
女子便所
倉庫
湯沸室
ガレージ
プラットホーム
書庫
通用口
事務室
コントロールデスク
玄関風除室
ポーチ
スロープ
アプローチ
ホール
休憩室
貸出室
ブラウジング
郷土資料
読書室（A）

1階 平 面 図 S=1:100

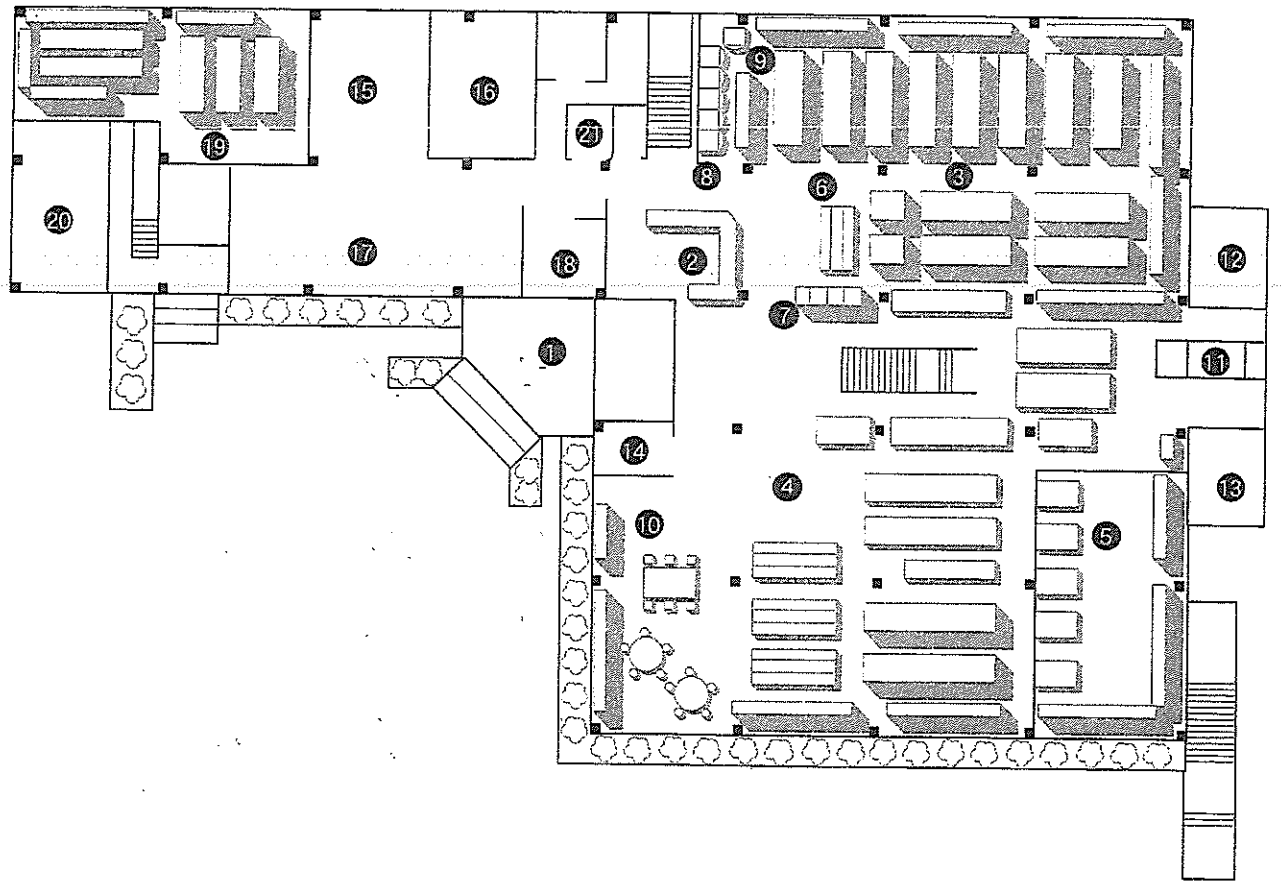


2階平面図　S=1:100

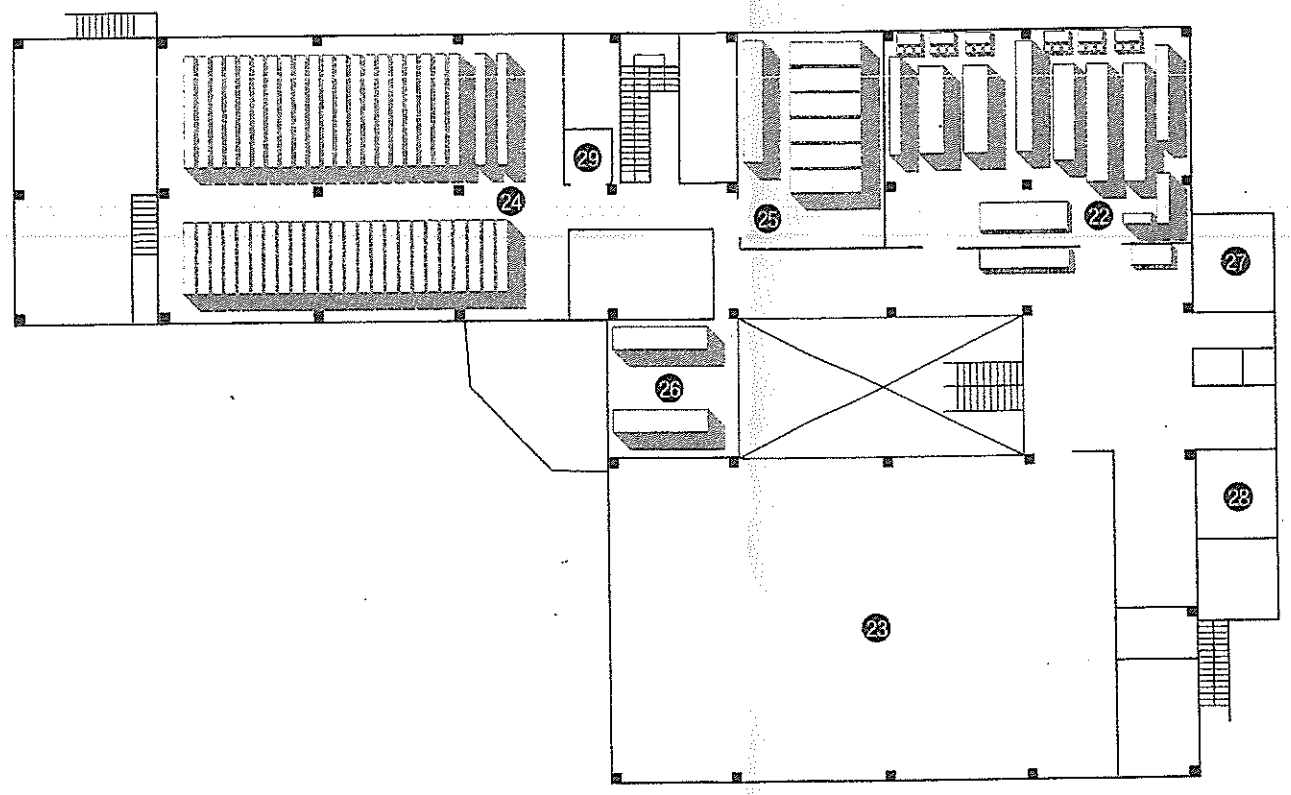
2

米子市立図書館の施設

1 F



2 F



1 階

①玄関ポーチ
②カウンター
③貸出コーナー
④ふれあいコーナー
⑤親子・読書コーナー
⑥新刊案内
⑦“ホンダスくん”
⑧視聴覚コーナー
⑨マイクロフィルムリーダー
⑩新聞・雑誌コーナー
⑪障害者用トイレ
⑫⑬男女トイレ
⑭喫煙室
⑮館長室
⑯応接室
⑰事務室
⑱電算室
⑲館外奉仕室
⑳車庫
㉑エレベーター

2 階

㉒参考図書・地域資料コーナー
㉓大会議室（168席）
㉔書庫（電動）
㉕新聞庫（電動）
㉖特設文庫室
㉗㉘男女トイレ
㉙エレベーター

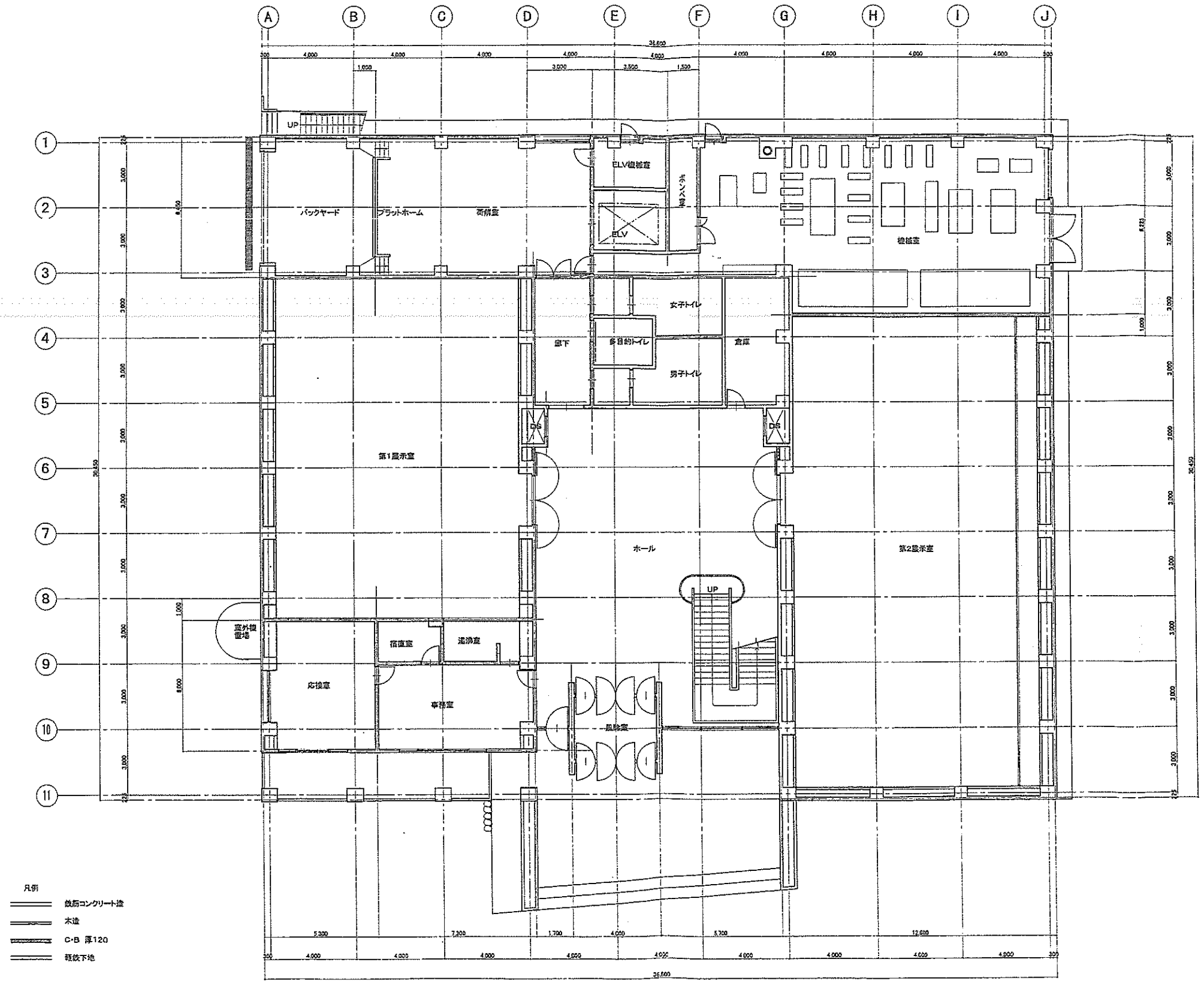
開架書架面積
1 F　670㎡
貸出コーナー
ふれあいコーナー
親子・読書コーナー
2 F　140㎡
参考図書・地域資料コーナー
特設文庫室
合計　810㎡

書架棚総延長　4.80km（含書庫）

建設概要

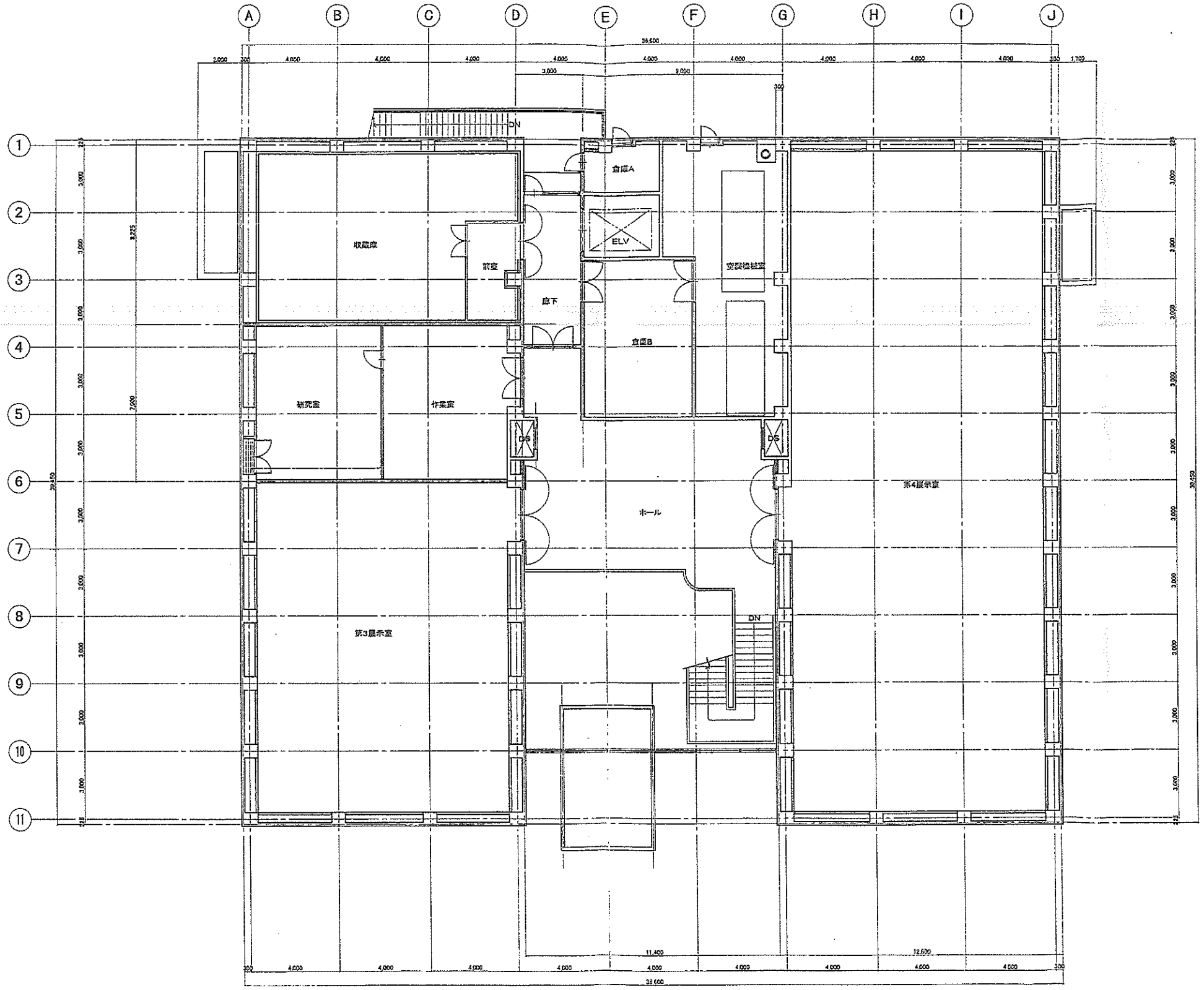
敷地面積	3,628.34㎡
建築面積	1,098.08㎡
1階	1,004.61㎡
2階	964.65㎡
延床面積	1,969.26㎡
建　物	鉄筋コンクリート2階建

3



1階平面図 S=1/100

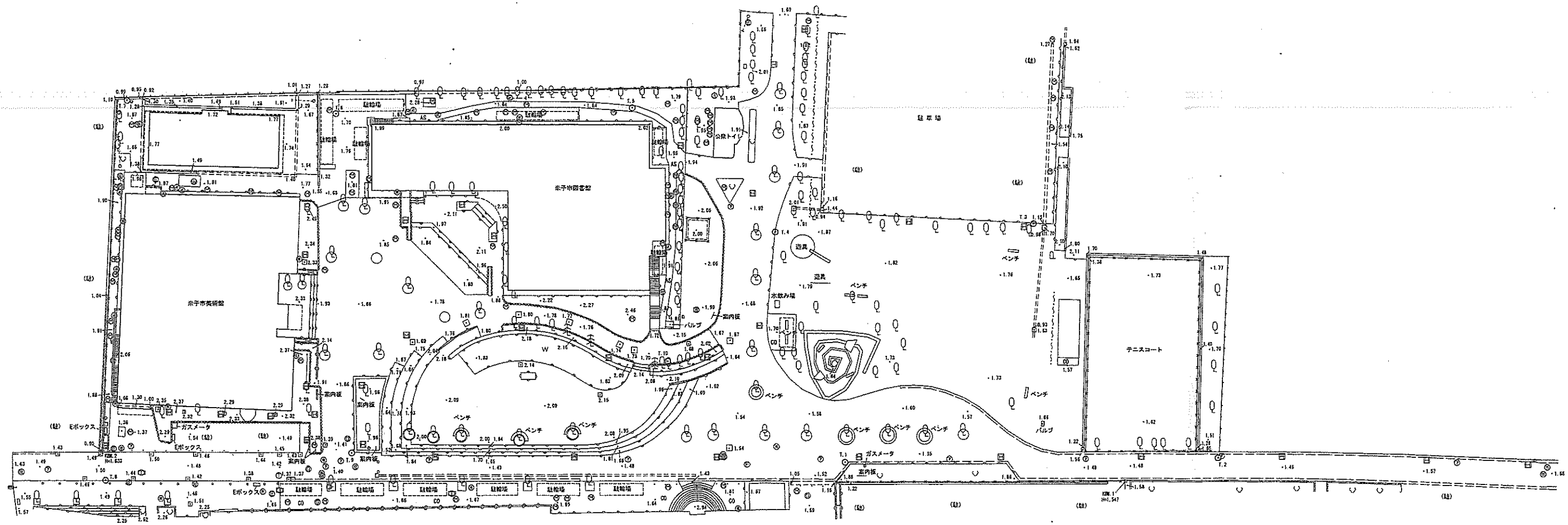
4



2階平面図 S=1/100

5

S=1:500



既設配置図 S=1:500